



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 黒田精工株式会社 上場取引所 東
コード番号 7726 URL <https://kurodaprecision.com/jp/>
代表者 （役職名）取締役社長 （氏名）黒田 浩史
問合せ先責任者 （役職名）取締役管理本部長 （氏名）荻窪 康裕 TEL 044-555-3800
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 2025年12月10日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	8,617	△1.9	△74	—	△87	—	120	△42.4
2025年3月期中間期	8,783	△1.8	406	30.2	308	△32.0	209	△26.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 102百万円（－％） 2025年3月期中間期 △5百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	21.03	—
2025年3月期中間期	36.66	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	28,814	11,561	39.6	1,987.70
2025年3月期	26,159	11,582	43.5	1,993.22

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 11,400百万円 2025年3月期 11,385百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	10.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2026年3月期 第2四半期末配当金の内訳 創業100周年記念配当金 10円00銭

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,800	8.8	180	△42.2	40	△90.5	130	△24.7	22.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	5,743,286株	2025年3月期	5,719,934株
2026年3月期中間期	7,750株	2025年3月期	7,750株
2026年3月期中間期	5,723,860株	2025年3月期中間期	5,705,720株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は雇用・所得環境が改善傾向で推移し緩やかな景気の回復基調で推移しました。一方で世界経済は、ロシア・ウクライナ及び中東地域における地政学リスクの長期化、米国の関税措置に伴う影響等を背景に先行き不透明な状況で推移しました。

こうした状況下、当社グループの受注高は、半導体・液晶関連装置市場向け駆動システム商品の受注低迷の状況が継続しているものの、機工・計測システム商品において特定顧客からまとまった受注があったことにより10,012百万円（前年同期比506百万円、5.3%増）となりました。

一方、売上高については、単体では各セグメントにおいて前年同期に比較し増加となったものの、欧米子会社等の売上減少の影響を受け8,617百万円（前年同期比166百万円、1.9%減）となりました。

利益面に関しては、欧米子会社の売上高減少に加え、単体の駆動・金型セグメント内の品種構成差等が大きく影響し営業損失は74百万円（前年同期比は営業利益406百万円）、経常損失は87百万円（前年同期は経常利益308百万円）と損失計上となりました。一方、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、投資有価証券売却益286百万円を計上したことにより120百万円（前年同期比88百万円、42.4%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

なお、下記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて表示しております。

○ 駆動システム

当セグメントでは、半導体・液晶関連装置市場向け商品の調整局面が継続しており、加えて欧米子会社の受注低迷の影響等もあり受注高は2,903百万円（前年同期比222百万円、7.1%減）となりました。売上高については期初受注残高の減少の影響もあり2,979百万円（前年同期比233百万円、7.3%減）となりました。

収益面では、利益率の改善に努めたものの欧米子会社の売上高の減少に加え単体における研削ねじと転造ねじの品種構成差等の影響により営業損失154百万円（前年同期は営業利益39百万円）と損失計上となりました。

○ 金型システム

当セグメントでは、車載用モーターコア及び家電用モーターコア等の受注が減少したものの、現在進行している新プロジェクト関連設備等の受注が寄与し受注高は4,745百万円（前年同期比324百万円、7.3%増）となりました。売上高は、車載用モーター向け金型、家電用モーターコアが減少したことに加え、中国のレアアース（希土類）の輸出規制により磁石部品の入荷が止まった影響により当該部品を使用する車載用モーターコアの売上が減少しました。その一方で新プロジェクト関連設備の関連会社向け売上が寄与したこと等によりセグメント売上高は4,091百万円（前年同期比91百万円、2.3%増）となりました。

収益面においては、相対的に利益率の高い商品の売上が減少した一方で、利益率の低い関連会社向け設備売上が増加したことから営業利益は127百万円（前年同期比338百万円、72.6%減）の減益となりました。

○ 機工・計測システム

当セグメントでは、受注高は精機商品において特定顧客からまとまった受注があり2,378百万円（前年同期比411百万円、20.9%増）となりました。一方売上高については、工作機械の売上減少の影響もあり、1,560百万円（前年同期比16百万円、1.1%減）となりました。

収益面では利益率の高い精機部門のシステム商品の売上が寄与したこと等により営業損失は前期より少ない40百万円（前年同期は営業損失79百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は28,814百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,655百万円増加しました。これは主に有形固定資産の増加等により固定資産が1,228百万円増加し、棚卸資産の増加等により流動資産が1,426百万円増加したことによるものです。

負債合計額は17,253百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,676百万円増加しました。これは主に仕入債務の増加等により流動負債が1,042百万円増加し、リース債務の増加等により固定負債が1,633百万円増加したことによるものです。

また、当中間連結会計期間末の純資産は11,561百万円となり、前連結会計年度末と比較して21百万円減少しました。これは主に資本剰余金の増加等により株主資本合計が38百万円増加した一方で、為替換算調整勘定の減少等により、その他の包括利益累計額が23百万円減少したこと、及び非支配株主持分が35百万円減少したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末に比較して228百万円増の3,518百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は331百万円（前年同期は1,438百万円の増加）となりました。これは主に棚卸資産の増加764百万円等により資金が減少した一方、仕入債権の増加831百万円、減価償却費587百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、減少した資金は861百万円（前年同期は445百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産等の取得954百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、増加した資金は772百万円（前年同期は988百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の実行1,218百万円等により資金が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、2025年11月12日の「2026年3月期第2四半期（中間期）業績予想及び通期業績予想並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月31日)	当中間連結会計期間 (2025年 9 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,290,414	3,518,879
受取手形	72,158	27,772
電子記録債権	317,636	317,228
売掛金	4,094,350	4,241,014
商品及び製品	1,351,777	1,316,184
仕掛品	2,294,925	2,920,928
原材料及び貯蔵品	930,906	1,096,072
その他	707,682	1,048,286
貸倒引当金	△5,622	△5,182
流動資産合計	13,054,229	14,481,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,054,778	3,695,343
機械装置及び運搬具（純額）	1,673,666	1,724,581
土地	1,869,755	1,869,755
リース資産（純額）	1,218,341	2,180,882
建設仮勘定	1,222,700	781,628
その他（純額）	295,952	335,261
有形固定資産合計	9,335,195	10,587,453
無形固定資産		
その他	167,828	193,205
無形固定資産合計	167,828	193,205
投資その他の資産		
投資有価証券	2,367,790	2,380,514
繰延税金資産	981,358	937,056
その他	254,956	237,275
貸倒引当金	△1,778	△1,771
投資その他の資産合計	3,602,326	3,553,074
固定資産合計	13,105,350	14,333,733
資産合計	26,159,580	28,814,917

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,103,929	1,950,064
電子記録債務	1,466,784	1,476,893
短期借入金	3,418,107	3,370,496
リース債務	269,483	371,654
未払法人税等	47,744	99,996
賞与引当金	305,487	257,346
受注損失引当金	6,742	9,912
資産除去債務	42,324	42,324
その他	1,809,349	1,934,257
流動負債合計	8,469,953	9,512,946
固定負債		
長期借入金	2,868,909	3,548,218
リース債務	995,822	1,860,053
再評価に係る繰延税金負債	369,190	369,190
役員退職慰労引当金	29,817	31,089
退職給付に係る負債	1,421,866	1,409,615
その他	421,730	522,521
固定負債合計	6,107,337	7,740,689
負債合計	14,577,290	17,253,636
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,941,619	1,952,174
資本剰余金	1,556,729	1,578,783
利益剰余金	5,297,988	5,304,142
自己株式	△9,324	△9,324
株主資本合計	8,787,013	8,825,776
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,090,025	1,121,601
土地再評価差額金	803,960	803,960
為替換算調整勘定	648,626	597,719
退職給付に係る調整累計額	56,031	51,517
その他の包括利益累計額合計	2,598,643	2,574,798
非支配株主持分	196,632	160,707
純資産合計	11,582,289	11,561,281
負債純資産合計	26,159,580	28,814,917

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	8,783,461	8,617,225
売上原価	6,516,855	6,864,825
売上総利益	2,266,606	1,752,399
販売費及び一般管理費	1,860,499	1,827,182
営業利益又は営業損失(△)	406,106	△74,782
営業外収益		
受取配当金	25,490	29,004
為替差益	—	14,663
設備賃貸料	19,187	18,068
スクラップ売却益	21,742	14,222
受取補償金	70,050	46,700
補助金収入	6,282	2,866
その他	13,945	6,310
営業外収益合計	156,697	131,836
営業外費用		
支払利息	49,281	80,518
為替差損	104,459	—
持分法による投資損失	9,740	13,065
クレーム対策関連費用	12,654	—
補償金原価	38,148	25,379
その他	40,355	25,987
営業外費用合計	254,640	144,951
経常利益又は経常損失(△)	308,164	△87,898
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	89,372	286,362
特別利益合計	89,372	286,362
特別損失		
固定資産売却損	—	34
固定資産除却損	0	2,837
特別損失合計	0	2,871
税金等調整前中間純利益	397,536	195,593
法人税、住民税及び事業税	181,573	33,265
法人税等調整額	22,709	32,540
法人税等合計	204,283	65,806
中間純利益	193,253	129,786
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△15,936	9,389
親会社株主に帰属する中間純利益	209,189	120,397

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 9 月30日)
中間純利益	193,253	129,786
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△348,676	31,576
為替換算調整勘定	149,682	△54,132
退職給付に係る調整額	258	△4,514
その他の包括利益合計	△198,735	△27,071
中間包括利益	△5,482	102,715
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	718	96,551
非支配株主に係る中間包括利益	△6,200	6,163

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	397,536	195,593
減価償却費	486,422	587,175
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,696	△462
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,651	△48,193
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,232	1,271
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,514	△18,839
受注損失引当金の増減額(△は減少)	5,480	3,169
受取利息及び受取配当金	△26,652	△30,496
支払利息	49,281	80,518
持分法による投資損益(△は益)	9,740	13,065
有形固定資産売却損益(△は益)	—	33
有形固定資産除却損	0	2,837
投資有価証券売却損益(△は益)	△89,372	△286,362
売上債権の増減額(△は増加)	924,670	△106,982
棚卸資産の増減額(△は増加)	357,752	△764,443
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,109,587	831,195
その他の流動資産の増減額(△は増加)	236,980	△88,184
その他の流動負債の増減額(△は減少)	415,619	△114,074
その他	△8,602	100,959
小計	1,647,667	357,782
利息及び配当金の受取額	33,565	44,657
利息の支払額	△58,716	△81,995
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△183,666	10,784
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,438,849	331,228
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△4,000	—
定期預金の払戻による収入	6,000	—
投資有価証券の取得による支出	△592	△232,789
投資有価証券の売却による収入	102,221	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△497,468	△954,010
有形及び無形固定資産の売却による収入	—	43
投資有価証券の有償減資による収入	—	309,626
その他	△52,006	15,658
投資活動によるキャッシュ・フロー	△445,846	△861,472
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△100,000	66,644
長期借入れによる収入	—	1,218,000
長期借入金の返済による支出	△566,294	△667,399
リース債務の返済による支出	△118,304	△169,559
セール・アンド・リースバックによる収入	—	469,300
配当金の支払額	△199,473	△114,243
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,647	△30,566
その他	△27	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△988,746	772,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	70,576	△13,465
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,833	228,465
現金及び現金同等物の期首残高	3,233,400	3,290,414
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,308,233	3,518,879

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,207,443	4,000,206	1,575,811	8,783,461	—	8,783,461
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,533	—	1,375	6,908	△6,908	—
計	3,212,977	4,000,206	1,577,186	8,790,370	△6,908	8,783,461
セグメント利益又は損失 (△)	39,011	465,349	△79,631	424,729	△18,623	406,106

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△18,623千円は、セグメント間取引消去△522千円と報告セグメントに
帰属しない一般管理費△18,100千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	駆動 システム	金型 システム	機工・計測 システム	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,967,052	4,091,367	1,558,805	8,617,225	—	8,617,225
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,918	—	1,402	14,321	△14,321	—
計	2,979,971	4,091,367	1,560,207	8,631,546	△14,321	8,617,225
セグメント利益又は損失 (△)	△154,403	127,296	△40,064	△67,171	△7,611	△74,782

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△7,611千円は、セグメント間取引消去△4,101千円と報告セグメントに
帰属しない一般管理費△3,509千円であります。

2 セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※1 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	3,329,233千円	3,518,879千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△21,000	—
現金及び現金同等物	3,308,233	3,518,879

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2025年9月26日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議し、以下のとおり自己株式の取得を実施いたしました。

1. 自己株式の取得を行った理由

資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化などに対応した機動的な資本政策を遂行するため、自己株式の取得を行いました。

2. 自己株式取得に関する取締役会の決議内容

- | | |
|---------------|---|
| (1) 取得する株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得する株式の総数 | 170,000株(上限)
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 3.0%) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 164,730,000円(上限) |
| (4) 取得期間 | 2025年9月29日 |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け |

3. 自己株式の取得結果

- | | |
|---------------|---|
| (1) 取得した株式の種類 | 当社普通株式 |
| (2) 取得した株式の総数 | 142,400株
(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.5%) |
| (3) 株式取得価額の総額 | 137,985,600円 |
| (4) 取得日 | 2025年10月1日(受渡日) |
| (5) 取得方法 | 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付け |